

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策1-3-3 外国人観光客誘客の強化
---------	------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

観光振興課長 木次 淳

電話番号

0852-22-6298

事務事業の名称	外国人観光客誘致対策事業	
目的	(1) 対象	外国人観光客
	(2) 意図	島根県の観光の魅力を伝え、島根県への観光誘客の拡大を図る。
事業概要	<p>【外国人向け観光情報発信事業】 島根の観光素材を市場別に分析し、情報提供することで効果的な誘客を図る。 発地側での情報収集力、プロモーション力強化のため、韓国、台湾、タイ、香港（新規）に情報発信拠点を設置する。</p> <p>【クルーズ客船誘致事業】 境港及び浜田港に寄港するクルーズ客船の誘致活動を行うとともに、受入体制の整備、情報発信を行う。 境港に寄港する客船の歓迎イベント会場・C I Q用テント等の設置、埠頭安全対策を実施する。</p>	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	外国人宿泊客延べ数	目標値	40,000.0	50,000.0	60,000.0	70,000.0	80,000.0	人
	式・定義	毎年の観光動態調査結果	取組目標値						
				実績値	51,899.0	61,538.0			
			達成率	129.8	123.1	-	-	-	%
2	指標名	主要観光施設外国人利用者数	目標値	92,000.0	109,000.0	126,000.0	143,000.0	160,000.0	人
	式・定義	窓口で旅券又は在留カードを提示することにより外国人割引を実施。その利用者数実績	取組目標値						
				実績値	115,275.0	123,519.0			
			達成率	125.3	113.4	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	102,038	106,735
うち一般財源(千円)	102,038	106,735

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

【外国人向け観光情報発信事業】 外国語ホームページ（英語・韓国語・中国語・タイ語）、SNS（英語・中国語・タイ語）ブログ（韓国語）による情報発信を行うとともに、旅行雑誌記者やブロガーの招請を実施した。【外国人観光客誘致関連団体と連携した誘客活動】 「しまね国際観光推進協議会」などとの連携を通じて受入れ体制の整備などを実施した。
 【クルーズ客船誘致事業】 境港のクルーズ船の誘致活動、受入環境整備にかかる経費について、境港管理組合への支援を実施した。また、浜田港についてはクルーズ客船誘致業務を委託し、おもてなし対応にかかる経費について浜田港振興会への支援を実施した。
 【外国人観光客誘致補助事業】 民間事業者等による外国人観光客受入体制整備に対して補助を行った。また、香港・台湾・タイからの県内の宿泊を伴う団体旅行に対して、貸切バス費用の一部を助成した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

【外国人向け観光情報発信事業】
 ・タイ語のフェイスブックについて、フォロワーが1万人を超えた。
 ・香港の団体旅行商品造成を行う旅行会社で島根県の宿泊を含む旅行商品の造成につながった。
 ・香港からの県内宿泊を伴う旅行者が大幅に増加した。
 【クルーズ客船誘致事業】
 境港のH29年のクルーズ客船寄港予定数が60隻となり、H27年実績23隻、H28年実績33隻から大幅に増加した。
 外国クルーズ客船の誘致を進めていた浜田港については、H30年に2隻のイタリア船の寄港が予定された。
 【外国人観光客誘致補助事業】
 ・民間施設等におけるWi-Fiの整備などの受入環境整備が進んだ。
 ・H28年度において、香港・台湾・タイからの団体旅行のバス80台分に対して旅行会社へ助成し、2,138人の送客実績があった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
 【外国人向け観光情報発信事業】 隣接県の空港、港、国内主要空港など外国人観光客の主要ゲートウェイから島根へのアクセスが不便であるため、旅費が高み、外国人が旅行先として島根を選択するインセンティブが低い
 【クルーズ客船誘致事業】 県内宿泊を伴わないクルーズ旅行について、オプションツアー開催時の県内消費の拡大。境港については、近年クルーズ船の寄港数が急増しており、受入体制や関係者の役割分担などが対応し切れていない。
 【外国人観光客誘致補助事業】 民間事業者等の外国人観光客受入環境整備に対する関心が高くない。
 ②困っている状況が発生している「原因」
 【外国人向け観光情報発信事業】 県内に海外からの直接のゲートウェイがなく、広島など隣接県に訪している外国人観光客の誘客の更なる取り組みが必要である。また、海外における島根県の認知度が低い。
 【クルーズ客船誘致事業】 境港については寄港数が急増している。
 【外国人観光客誘致補助事業】 平成の大遷宮効果の継続等により国内観光客が減少しておらず、外国人観光客誘致に意識が向きにくい。
 ③原因を解消するための「課題」
 【外国人向け観光情報発信事業】 隣接県や関連団体と連携し、旅行会社等に対する助成事業の実施やクルーズ客船誘致など誘客対策を強化
 【外国人向け観光情報発信事業】 さまざまな手法により、島根の観光素材や助成制度について情報発信を強化
 【クルーズ客船誘致事業】 H31の外港竹内地区国際課客船ターミナルの竣工に向けて、クルーズ客船の受入規模、受入体制、役割分担を関係者で協議し決定する必要がある。
 【外国人観光客誘致補助事業】 民間事業者等への制度の周知

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

民間事業者等における外国人観光客受入環境整備を支援し、重点地域・国に対しては、「中国地域観光推進協議会」などと連携し、引き続きプロモーション活動を行っていく。団体旅行商品造成支援（貸切バス助成）を旅行会社へ周知し、団体旅行商品の造成増加を図る。個人旅行者については、ウェブサイトやSNSでの情報発信の強化により誘客の増加を目指す。
 境港におけるクルーズ客船の受入については、境港として将来的に何隻受け入れるのか、そのために必要な体制や予算について整理していく必要がある。